

2022年5月11日
建設労務安全研究会

理事長就任のご挨拶

この度、理事長に選任いただきました鉄建建設の細谷でございます。

建設労務安全研究会は、昭和21年10月に本研究会の前身である労務懇談会が発足してから今年で76周年を迎えます。

建設業界の労務安全衛生管理事項等に関する調査研究・提言を行い、会員相互の資質の向上および関係諸機関との連携を図り、建設業界の発展に寄与することを目的に活動に取り組んできたわけですが、歴代の理事長、理事の方々の弛まぬ努力とご苦勞が実り、今や建設業界において一定の役割を果たしつつあると認識しております。

関係各方面の皆様、並びに労研の諸先輩、現職理事の皆様に対し、心から敬意を表します。

その歴史の中で、理事長を拝命し、責任の重さを痛感するとともに、建設労務安全研究会のますますの発展を目指し、10年、20年先を見据え、諸先輩方の残された功績を継承し、駅伝でたとえれば、襷を受け継ぎ、微力ながら、次の世代へと繋げて行きたいと考えます。

建設業における労働災害とりわけ死亡災害は、ピークであった昭和36年に比べ10分の1程度まで減少してきてはいますが、減少率は鈍化しており、災害発生状況の内容も墜落・転落災害、建設機械・クレーン等災害および倒壊・崩壊災害という三大災害が大半を占めるという構図は半世紀以上の間、変わっていません。

こういった状況を打開するためにもこれまでの中心的対策であった物的対策、管理的対策に加え、人そのものに着目した対策も必要と考えます。

安全対策は、元請や会社のためではありません。現場で働いている人を毎日、家族のもとへ帰す取組みも私たちに求められています。

建設労務安全研究会は、会員各社、関係団体の皆様の力をお借りし、行政・発注者との連携の下、安全衛生理念にある「働く者一人ひとりの安全の確保と健康の増進」「快適な職場環境の確立」を図る活動をこれからも行います。

建設産業に少しでも貢献できる組織であり続けることをお約束し、私の就任挨拶とさせていただきます。

以上